

第5次総合計画 中期戦略事業プラン 事務事業評価シート

事業名	国道246号バイパス整備促進事業			事業番号	31-105
事務事業担当	部名	部長名	課名	課等の長	
	都市部国県事業推進担当	三宅 伸宏	国県事業対策課	有上 悟	

計 画 (Plan)

総合計画体系	都市力	まちづくり目標	4	住み続けたい快適で魅力あるまち	
		基本政策	9	快適で暮らしやすいまちづくり	
		施策展開の方向	2	便利で機能的なまちをつくる	
		施策	31	都市の機能を高める基盤施設整備の推進	
予算事業名	広域幹線道路推進事務費				
事務区分〔選択〕	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務    (選択してください)→			法令上の位置づけ	実施する規定はない
事業開始年度	開始年度	平成25年度以前	～	終了年度	—
関連法令等	道路法、道路整備緊急措置法、道路整備特別措置法、都市計画法				
国・県の計画等	地域高規格道路の計画、かながわのみちづくり計画			計画期間	
関連個別計画				計画期間	
実施の背景 (事業を取りまく環境・市民ニーズ)	国道246号の慢性的な交通渋滞の解消、交通安全対策の向上を図るため、国は、厚木市と秦野市を結ぶ国道246号バイパスの整備を進めています。				
目的 (何をどうしたいのか)	国道246号バイパスの整備が計画されている区間のうち、未だ事業化が図られていない区間があることから、秦野市、厚木市と連携し、国道246号バイパスの整備促進、早期開通及び全線事業化を図ります。				
主な対象 (誰・何を対象に)	交通渋滞の解消や利便性の向上など国道246号バイパスの整備効果を受けることとなる市民及び利用者です。				
事業内容 (手段、手法など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道246号バイパスの早期全線事業化、早期整備に向け、秦野市、厚木市と連携し、国等へ要望を実施します。</li> <li>・地元関係者と事業者との調整を進め、事業の円滑な促進を図ります。</li> </ul>				
事業行程	項目	年度			
		28年度	29年度		
	事業スケジュール	用地取得・文化財調査・工事	用地取得・文化財調査・工事		
	地元調整	継続実施	継続実施		
	関係機関調整	継続実施	継続実施		
建設促進活動	継続実施	継続実施			
目 標	【指標名】	【現状】	年度		
			28年度	29年度	
	国道246号バイパスの整備促進	建設・事業化促進	建設・事業化促進	建設・事業化促進	

 事業実施 (Do)へ

## 事業実施 (D○)

<b>事業の「取組方針」</b> (前年度事務事業評価)	国道246号バイパスの全線事業化、早期整備に向け、秦野市、厚木市と連携し、引き続き、国等へ要望活動を実施します。また、地元関係者と事業者との調整や情報共有を密にし、整備事業の円滑な促進を図ります。			
<b>実施方法</b> 〔選択・記入〕	<input checked="" type="radio"/> すべて直接実施 <input type="radio"/> 左記以外			
	<input type="checkbox"/> 業務委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<b>委託先又は指定管理者</b>	
	<input type="checkbox"/> 補助金		<b>補助先</b>	
	<input type="checkbox"/> その他		<b>具体的内容</b>	
<b>実施結果</b>	<b>項目</b>	<b>年度</b>		
		<b>28年度</b>	<b>29年度</b>	
	事業スケジュール	用地取得・文化財調査・工事	用地取得・文化財調査・工事	
	地元調整	継続実施	継続実施	
	関係機関調整	継続実施	継続実施	
建設促進活動	継続実施	継続実施		
<b>実施した取組の内容</b>	国道246号バイパスの整備促進、早期開通及び未事業化区間の全線事業化に向け、秦野市、厚木市と連携し、引き続き、国等への要望活動を実施しました。また、地元関係者と事業者との調整を進め、事業の円滑な促進及び周辺の環境整備を図りました。			
<b>目標の達成状況</b>	<b>【指標名】</b>	<b>【現状】</b>	<b>年度</b>	
			<b>28年度</b>	<b>29年度</b>
	国道246号バイパスの整備促進	建設・事業化促進	建設・事業化促進	建設・事業化促進

	年度		28年度 実績				29年度 実績				
内訳	<b>事業費合計 (a)</b>		113		千円		111		千円		
	内訳	国県支出金 ①		0		千円		0		千円	
		地方債 ②		0		千円		0		千円	
		その他特財 ③		0		千円		0		千円	
		一般財源 (a)-①-②-③		113		千円		111		千円	
<b>国県支出金の内容</b>											
コスト	その他特財の内容	受益者負担	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		前回の改定時期						
		その他									
人件費	正規職員		0.72	人	6,228	千円	0.72	人	6,286	千円	
	その他の職員		0.12	人	292	千円	0.12	人	290	千円	
	<b>人件費合計 (b)</b>		0.84	人	6,520	千円	0.84	人	6,576	千円	
<b>トータルコスト (a)+(b)</b>				6,633	千円			6,687	千円		
単位当たりコスト	対象数	定義	国道246号バイパスの整備効果等を受ける全市民		単位	国道246号バイパスの整備効果等を受ける全市民		単位			
		対象数	101,635		人	102,037		人			
	総事業費／対象数	65		円	66		円				

↓ 評価 (Check) へ

**評 価 (Check)**

<p><b>進捗状況</b> 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 計画どおり (A) <input checked="" type="radio"/> 概ね計画どおり (B) <input type="radio"/> 計画どおり進捗せず (C)	<p align="center"><b>B</b></p>	<p><b>左記判断理由</b></p>	<p>国道246号バイパスの早期開通に向け、秦野市、厚木市と連携し、建設促進協議会を通じて、事業促進と未だ事業化が図られていない区間の全線事業化に向け国等へ要望活動を行いました。地域連絡会や工事説明会等において地元の意見や要望等の把握に努めました。</p>
<p><b>実施水準</b> 〔選択・記入〕</p>	<input type="radio"/> 他市より高い水準で実施 (A) <input checked="" type="radio"/> 他市と同水準で実施 (B) <input type="radio"/> 他市より低い水準で実施 (C) <input type="radio"/> 一律に比較できない事業	<p align="center"><b>B</b></p>	<p><b>他都市の事業内容等</b></p>	<p>国道246号バイパスの整備促進にあたっては、関係市である秦野市、厚木市と連携して「国道246号バイパス建設促進協議会」を設立し、国等への要望活動を実施しています。</p>
<p><b>有効性</b> 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 高い (A) <input type="radio"/> 普通 (B) <input type="radio"/> 低い (C)	<p align="center"><b>A</b></p>	<p><b>左記判断理由</b></p>	<p>国道246号バイパスの早期開通に向け、秦野市、厚木市と連携し、建設促進協議会を通じて、事業促進と未だ事業化が図られていない区間の全線事業化に向け国等へ要望活動を行いました。円滑な事業促進に向け、定期的な地域連絡会を開催しました。</p>
<p><b>効率性</b> 〔選択・記入〕</p>	<input checked="" type="radio"/> 効率的に実施されている (A) <input type="radio"/> 改善の余地がある (B) <input type="radio"/> 抜本的な改善が必要である (C)	<p align="center"><b>A</b></p>	<p><b>左記判断理由</b></p>	<p>国道246号バイパスの早期整備や全線事業化を実現するため、経費を抑えつつ、国、県に対する要望活動を実施しました。また、定期的な地域連絡会や、工事進捗に合わせた地元説明会等を通して市民や地元企業等の期待感を高め、一丸となって効果的に働きかけることができました。</p>


 取組の改善 (Action)へ

**取組内容の改善 (Action)**

<p><b>事業推進上の課題</b></p>	<p>国道246号バイパスは、秦野市、厚木市と連携し、引き続き事業促進と未事業化区間の全線事業化を強く要望していく必要があります。併せて、国道246号バイパスの必要性や整備効果について広く理解していただくことにより市民や地元企業等の期待感を高め、行政と市民等が一丸となって整備促進を継続的に強く働きかけていくことが重要です。</p>
<p><b>次年度以降の取組の方向性</b></p>	<p>国道246号バイパスの早期整備、全線事業化に向け、秦野市、厚木市と連携し、引き続き、国等へ要望活動を実施します。また、地元関係者と事業者との調整や情報共有を密にし、事業の円滑な促進を図ります。</p>
<p><b>所管部長による総評</b></p>	<p>国道246号の慢性的な交通渋滞の解消など国道246号バイパスの整備効果を発揮するためには、早期の全線開通が必要であるため、引き続き要望活動等を通じて本事業の促進を図るべきと考えます。</p>